

令和8年度 第25回
高校生ものづくりコンテスト鹿児島県大会
「家具工芸部門」実施要項

1. 期日 令和8年 6月 6日(土)
- | | | |
|--------|-------|-------------------------|
| 8:40～ | 9:00 | 受付(Ⅱ類棟1Fインテリア系組立実習室)・更衣 |
| 9:00～ | 9:20 | 場所・材料抽選および準備 |
| 9:20～ | 9:30 | 開会式(部門実施) |
| 9:30～ | 10:00 | 準備 |
| 10:00～ | 12:30 | 競技(2時間30分) |
| 12:30～ | 13:00 | 清掃・片付け |
| 13:00～ | 14:45 | 昼食(控室)、審査 |
| 14:45～ | 15:15 | 表彰式、閉会式(部門実施) |

2. 会場

開会式(部門)

Ⅱ類棟1F 組立実習室

競技

Ⅱ類棟1F 組立実習室

選手・指導者控室

Ⅱ類棟4F 製図室

更衣場所

男子:Ⅱ類棟4F 絵画室 女子:Ⅱ類棟4F 生徒更衣室

3. 出場人数

競技場の関係上全体としては最大9名とするが、9名を超える場合、各校の出場人数を制限する。

4. 課題

次の仕様及び注意事項に従い、支給された材料で図面に示す課題を制作しなさい。
ただし、配布されたシナ合板に作図をしても良い。

(1) 競技時間 2 時間 30 分

(2) 支給材料

1) 材種 ヒノキ (もしくはヒバ)

・ 寸法 (数量) 長さ 600 mm×幅 180 mm×厚み 18 mm (1 枚)

長さ 450 mm×幅 40 mm×厚み 18 mm (4 本)

(幅・厚みは、鉋仕上げの削りしろとして約 0.3mm 程度大きめの状態で支給する)

・ 材料の表面 (木口面を除く 4 面) は、手押し鉋盤、自動鉋盤かけとする。

2) シナ合板 (作図用)

・ 寸法 (数量) 長さ 450 mm×幅 350 mm×厚み 4 mm (1 枚)

・ 作図用とし、加工はしないものとする。

3) 皿木ねじ 呼び径 3.5 長さ 38 (2 本)

(3) 仕様及び注意事項

1) 仕様

① 競技用図面に基づき製作する。

※ 事前発表図面より当日、寸法変更の箇所あり。

② 墨付けは、白書きと鉛筆の両方を使用してもよい。

③ 仕口部分には、必要に応じて入り面等の面取りを行う。

④ 各仕口の目違い払いを行い、各部材の 4 面及び木口の仕上げ削りを行う。

⑤ 各部材の糸面取りを行う。(ただし、脚の脚先(接地部分)は糸面を取らない)

⑥ 木殺しは可とするが、水湿しは不可とする。

⑦ 鉋仕上げ前の水拭きは禁止する。

⑧ 組立てには、接着剤を使用しないこと。

2) 注意事項

① 作業場所と支給材料の選択は以下のとおりに行う。

参加者名簿順 (ゼッケン番号順) に抽選 (①～) ⇒ 抽選番号の昇順に
作業場所の選択 ⇒ 抽選番号の降順に材料の選択

② 競技開始後の支給材料の再支給は減点対象とする。

③ 使用工具等は、一覧表で示したもの以外は使用しない。選手間での工具等の貸し借りを禁止する。

④ 競技時は、作業に適した作業服を着用する。上履きは、各自持参すること。

⑤ 作業場所は、常に整理整頓し、安全作業を心掛ける。

⑥ 組立が完了したら、審査員に手をあげて申し出て、指定の場所に提出する。

※ 提出後は作業エリアの清掃のみを行い、その場で待機する。

⑦ 蟻定規、電卓は使用禁止とする。

⑧ 競技時間内に組み立てられなかった場合は、途中の状態で提出する。

⑨ 競技会開始後、全ての課題が終了するまで、競技の公正さを損ねないため、選手同士の会話や引率者の選手へのアドバイスを禁ずる。

- ⑩ 作業台や木口台等にはきずを入れない。作業台へのきず防止のための敷板には、きずを入れてもよい。
- ⑪ その他注意事項の詳細については、競技会場において指示する。

5. 競技場の設備及び選手の手参工具

(1) 競技場の設備

No.	名称	規格又は寸法	数量	
1	立式作業台	1840×900×700 mm	1名に1台	
2	きず防止のための敷板	600×300×4mm 程度	1名に1枚	
3	延長コード	100V	適宜	

(2) 選手の手参工具

No.	工具名	規格又は寸法	数量	
1	胴付き鋸	210～240mm 程度	1	
2	両刃鋸	210～240 mm程度	1	ほぞ挽き鋸も可
3	平鉋		適宜	
4	際鉋	右勝手、左勝手	各1	必要に応じて
5	追入れのみ		各種	必要に応じて
6	向こうまちのみ		各種	必要に応じて
7	薄のみ		各種	必要に応じて
8	自由定規（自由スコヤ）		適宜	
9	直角定規（スコヤ）、差金		各1	
10	留め定規（留めスコヤ）		1	
11	ノギス、定規		各1	
12	白書き		1	
13	筋け引き	150～200 mm程度	適宜	鎌け引き可
14	玄能		各種	木槌、金槌可
15	きり	三つ目ぎり又は四つ目ぎり	1	
16	十字ドライバー	2番	適宜	必要に応じて
17	端金	300 mm程度	適宜	必要に応じて
18	クランプ		適宜	必要に応じて
19	木口台、摺り台		各1	必要に応じて
20	打ち当て（当て木）		1～2	必要に応じて
21	時計		1	必要に応じて
22	筆記用具一式		適宜	
23	製図道具一式		適宜	
24	電動ドリル	インパクト可	1	必要に応じて
25	ドライバビット	No. 2	適宜	必要に応じて
26	ドリル、皿もみ用ビット	下穴、皿もみ	適宜	必要に応じて

注) 使用工具等は表中のものに限るが、同一種類のものは予備(1～2個)を持参してもよい。
課題専用に位置決めされたけ引き及び加工された治具、工具の使用は不可とする。

6. 採点項目（配点）及び観点

(1) 採点項目と配点

採点項目	配点
仕口加工精度	40
寸法精度	25
鉋仕上げ	15
作業手順	10
作業状況・安全作業	10
合計	100
怪我	基準により減点
仕様誤り	基準により減点
材料再支給	基準により減点

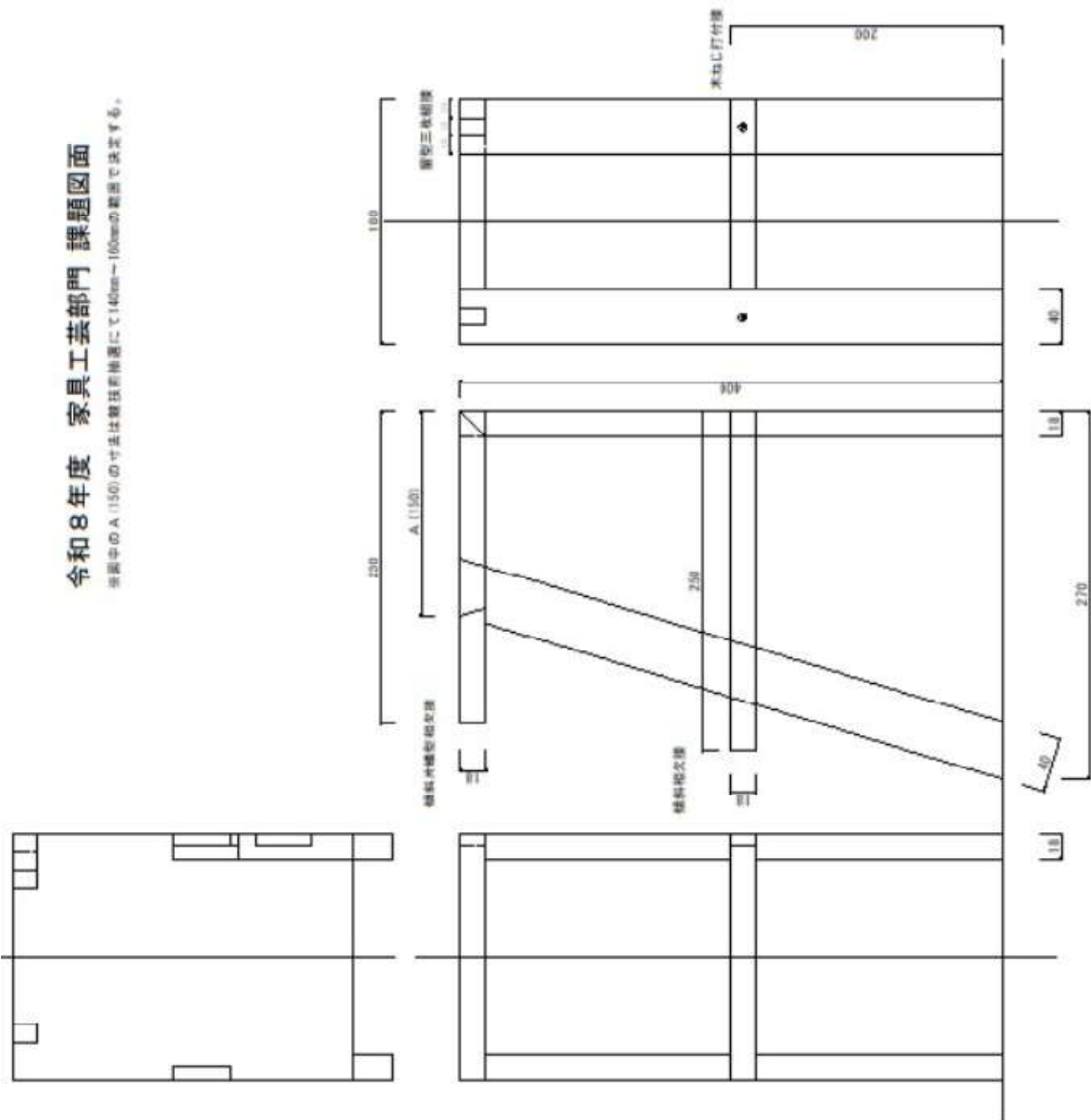
※シナ合板に作図した図面については、審査対象としない。

(2) 観点

- ① 仕口ごとの加工精度
完成状態及び分解状態での評価
- ② 完成品の寸法精度・ひずみ
指示された各部の仕上がり寸法等
- ③ 鉋仕上げ
鉋まくら、逆目、墨付け線、作業傷、糸面取り
- ④ 作業手順
加工精度に影響する作業手順
- ⑤ 作業状況・安全作業
服装態度、道具・材料の取り扱い及び整理整頓
怪我をした場合減点とする
- ⑥ 製品仕様
仕様誤り、材料再支給により減点（最大 20 点）
例 仕様誤り 1カ所に付き 3点×4カ所まで=12点、
材料再支給 1本につき 4点×2本まで（2本再支給）=8点
これ以上減点があっても 20点まで

令和8年度 家具工芸部門 課題図面

写真中の A (150) の寸法は競技新標準にて140mm～160mmの範囲で決まる。



鹿児島工業高等学校 インテリア系 作業台



作業台寸法 幅 1840mm × 高 700mm 奥行 900mm（奥行きについては 270mm + 360mm + 270mm で段差有り）

イス寸法 幅 393mm × 高 513mm × 奥行 262mm



厚 60mm × 幅 270mm

段差 7 ~ 12mm

※作業台は個体差があるため寸法はあくまで参考寸法とします。机の中央にある凹の部分は、掏り台としては正確ではありません。直角の精度が出ておりません。甲板の陸の精度も高くありません。